

# 都市地域特性と映像民俗誌の作成

佐原の映像民俗誌制作をめぐる諸問題

上野和男

Characteristics of Urban Society and the Compilation of a Pictorial Ethnography: Problems Surrounding the Production of a Pictorial Ethnography for Sawara

## ①問題

- ②佐原の都市地域特性
- ③映像制作方法の諸問題
- ④映像内容
- ⑤結論

## [緒論]

この報告は、この研究プロジェクトで作成した千葉県佐原市の都市映像民俗誌について、その目的・内容および作成方法、意義等について考察したものである。この研究プロジェクトでは、典型的な伝統的地方都市のひとつである千葉県佐原市の都市地域特性を明らかにする目的で三篇の映像民俗誌を作成した。佐原市は少なくとも近世以来、町が大きく二つの地区にわかれ、神社を別々に祭祀し、別々の祭礼を毎年実施しながら、対抗と連帶のなかでひとつの都市社会を形成してきた。こうした地域社会構造は、一九世紀以来、双分割という概念で理解されてきた。佐原は、日本ではきわめて珍しい双分割的構造をもつ都市社会であるといえる。

こうした佐原の都市地域特性を映像で表現するために制作したのが、佐原の映像民俗誌である。三篇のうち、二本は新宿地区と本宿地区の祭礼を中心とする映像民俗誌であり、残る一本が新宿・本宿をあわせて佐原全体の都市地域特性を映像化したもの

である。本稿では、映像民俗誌作成過程の諸問題、とくに撮影と編集について考察し、問題点を指摘した。また、映像民俗誌の内容についても若干検討した。映像民俗誌、とくに都市の映像民俗誌の作成にかかる問題は多く、この分野はまだ、十分な考察が進んでいないが、今後の都市社会の研究の一方法として、きわめて重要であるといえる。